

平成30年分議会評価コメント一覧

大項目	小項目	結果	コメント
1 市民参加	市民からの意見の 吸い上げ状況	4	議会報告会や市民議会を開催し、市民の多様な意見を聴取している。ただし、通年または通任期で計画的には開催していない。
	市民の議会参加状 況	4	議会報告会は述べ9日間14か所で開催し、市民はどの地域でも参加できるよう周知を行い、発言の機会を広げた。
	意見の活用状況	3	議案審議等においては、まだ議会全体で積極的に市民の声を生かすまでには至っていない。常に意識するとともに意見を生かしていくための仕組みづくりも必要となる。

大項目	小項目	総務教育		環境厚生		産業建設	
		結果	コメント	結果	コメント	結果	コメント
2 課題解決 能力	各委員会の所管事務調査報告の内容	4	<ul style="list-style-type: none"> ・当局調査、現地調査、関係自治会への聞き取り等、必要な取り組みを実施し、その内容を分析の上、避難所に係る市の考えと各地域のニーズとのかい離等を指摘し、あるべき姿を明らかにした。 ・その内容で充分であり、議会評価の「5」までの取り組みの必要性はないと判断した。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・提言に向けた所まで行ったが市民、当局に課題解決について後押しできたかは不明確であり検証ができていない。 ・「成果が提言的な要素を含むものに繋がる」まではいかなかった。 ・数字に対する評価をきちんとすべきだった。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・当局聴取、市内現地調査、委員間討議、当局再聴取、先進地視察等により提言的要素を含む内容の報告ができた。 ・評価を「5」とするためには、他委員会の議員も巻き込んで、議会としての政策討論会・検討会の場の整備が必要。
	市民参加との関連性	3	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告会からの意見のみではなく、各委員の日頃の活動等から課題を取り上げ、必要な調査であると判断した。 ・次の段階である「市民からの評価を得る」には至っていない。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・市民からの評価に至っていない。 ・調査した内容を当局だけではなく、より外部へ広報する必要がある。 ・具体的には参考人、現地視察先等に対し、報告書を渡し報告をすべきである。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグルーフの活用方法の検討が急務であると判断した。 ・報告内容は議会広報、HPで市民に周知。 ・市民から評価される場の検討が必要。
	議会独自の視点	1	<ul style="list-style-type: none"> ・政策体系外の内容をテーマとした調査の必要性はないと判断した。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・独自の視点での調査を行っていない。(そもそも総合計画政策体系に掲げられていない「議会独自の視点」は現実的ではないのでは) 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・独自の視点で調査を行い、成果を提供した。 ・市民から評価される場の検討が必要。

大項目	小項目	総務教育		環境厚生		産業建設	
		結果	コメント	結果	コメント	結果	コメント
3 意思決定能力	議案審査に資する委員会の内容	4	・委員個々の考えを、十分な委員間討議により共有し、委員会として地域課題の本質を議論し審議した。	4	・委員会として課題を抽出し、重点項目を設定するなど工夫し、議論できた。	3	・多様な手法、手段を用いるのが困難。
	市民参加や課題解決との関連性	5	・市民の意見や所管事務調査で浮き彫りとなった点などを、十分に委員間討議で各委員が共有し、重点とすべき課題を抽出するなど、合意形成を図り審査した。	4	・市民からの課題は関連付けて議論をし「市民の意見」「調査研究の成果」を十分に踏まえた上で審査できた。	4	・議会報告会での意見、所管事務調査の内容を踏まえた審査が行えた。
	請願の審査	3	・請願提出者が願意を発言する場を設け、その内容を踏まえた審査を行った。 ・次の段階である「異なる立場の意見」等については、その必要性を議論し不要とした。	4	・請願者の趣旨説明を受け、関係する当局からも説明を聞き審査した。	2	・紹介議員の説明のみで充分であった。

大項目	小項目	結果	コメント
4 透明性	関連資料の公開	2	・誤った内容を議会だよりに掲載し、判明後ただちに修正する措置を取った。 ・原因は、議会報告会での意見について、広聴常任委員会作成の報告書に誤りがあり、その内容を原稿として掲載したものである。原稿の内容を精査し、誤りに気付く必要もあった。
	政務活動の公開	3	・時期は議会内の調整、議運との連動がある。 ・HPで活動シート等を公開し、内容を補完する必要がある。
	発信媒体	3	・ユニバーサルデザインフォントの採用により、見やすい文字が掲載された。 ・広報の朗読テープは毎号対応できている。